

科目名	憲法概論Ⅱ Introduction to Constitutional Law Ⅱ						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 関連科目]				ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)	
授業の概要	みなさんは「人権」という言葉、そしてその大切さについては、義務教育課程でも学んできたことでしょう。それでは、人権を「憲法」によって保障するとは何を意味するのでしょうか。この授業では、憲法が人権を保障することの意味・特徴について、日本国憲法の下で具体的にどのように運用されてきたのかを検証することで学びます。						
授業の到達目標	①日本国憲法が規定する制度・仕組みを、文章で具体的に説明できる。 ②憲法に関する基本的な考え方を、文章で具体的に説明できる。						
授業計画・内容	1	イントロダクション：前期授業の確認・接続					
	2	人権総論 (1) 人権と憲法上の権利					
	3	人権総論 (2) 公共の福祉					
	4	人身の自由：法定手続の保障					
	5	思想・良心の自由					
	6	信教の自由					
	7	政教分離原則					
	8	表現の自由 (1) その歴史と意義					
	9	表現の自由 (2) その展開と限界					
	10	経済的自由：職業の自由					
	11	生存権					
	12	教育を受ける権利					
	13	法の下での平等					
	14	参政権：選挙権					
	15	後期授業のまとめ					
授業外学修 (事前学修)	事前にアップロードする資料 (レジュメ) および教科書の該当頁に目を通しておくこと (毎週 2 時間程度)。						
授業外学修 (事後学修)	授業内で行った、あるいはレジュメに記載されている、問い掛けに対して自身の言葉 (文章) で答えられるようにしておくこと (毎週 2 時間程度)。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	授業内での「小テスト」および授業参加姿勢 定期試験				20% 80%		①② ①②
成績評価基準	秀： (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優： (評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良： (評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可： (評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可： (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	初宿正典・大沢秀介・高橋正俊・常本照樹・高井裕之・上田健介『目で見える憲法』第 6 版 (有斐閣・2024 年)						
参考文献	池田真朗・宮島司・安富潔・三上威彦・三木浩一・小山剛・北澤安紀 (編集代表)『法学六法'24』(信山社・2023 年)						
その他	この授業は、前期授業 (憲法概論Ⅰ) の履修を前提とした講義を行います。また、理解状況を確認するため、折に触れて問い掛けをしたり、「小テスト」を実施します。単に知識として覚えるのではなく、自身の言葉で「説明できる」ことを意識して下さい。なお、授業内での問い掛けに対する挙手による応答・発言 (授業参加姿勢) は積極的に評価します。						